

卒業生との絆ニュースNo. 87 千葉大学の学生及び教授が各賞を受賞しました。

卒業生の皆様

このたび、千葉大学の学生及び教授が、各賞を受賞しておりますので、皆様にご紹介いたします。ご活躍をご覧ください。

◆山本友子教授、日本細菌学会賞「浅川賞」の受賞が決定◆

このたび、大学院薬学研究院分子医薬科講座・山本友子教授が平成23年度日本細菌学会賞「浅川賞」を受賞することが決定しました。日本細菌学会賞「浅川賞」は、細菌学及び関連領域の研究において創造的かつ主導的な研究を行い、学会の発展に貢献をした研究者に贈られる賞で、女性の受賞は2人目の快挙となります。受賞の対象となった研究業績は「細胞内寄生性細菌のストレス応答と病原性発現制御機構に関する研究」。サルモネラ属細菌の感染分子機構を解明したもので、独創性の高い体系的な研究が国際的に高い評価を受けています。

<http://www.p.chiba-u.ac.jp/lab/bisei/index.html>

◆田村裕准教授が「ベンチャー・カップCHIBA」でグランプリ受賞◆

大学院医学研究院 田村裕准教授が、「ベンチャー・カップCHIBA」ビジネスプラン発表会においてグランプリを受賞しました。受賞対象となったビジネスプランは『難治性疾患治療・希少疾病治療に有用な医療創薬』。医薬品創製などの研究内容の事業化にあたって「理論的創薬システム」を用いた受託研究開発事業である“テクノロジー型経営(※1)”で経営基盤の安定化を図りながら、医薬品開発を行う“プロダクト型経営(※2)”で業務を拡充する“ハイブリッド型経営”の構築を目指すものです。この事業により、新薬創製における開発・承認に要する初期開発期間の短縮やその開発精度の向上等が可能となります。

※1 テクノロジー型経営：ローリスク・ローリターンで売り上げ時期が早い、コンピュータ・シミュレーションを用いた受託研究開発事業
※2 ハイブリッド型経営：ハイリスク・ハイリターンだが売り上げ発生時期が遅い創薬事業

<http://www.chiba-u.ac.jp/others/topics/article2010/20101209venture.html>

◆園芸学部 石田晃大さんが高円宮杯第45回全日本スペイン語コンクール西検中央委員会会長賞受賞◆

11月20日(土)、東京都新宿区信濃町の(財)日本スペイン協会が開かれた高円宮杯第45回全日本スペイン語コンクールで、園芸学部緑地環境学科3年の石田晃大さんが西検中央委員会会長賞を見事受賞しました。

『支えは人を強くする』と題したスピーチで、カナダのトロントから太平洋まで孤独と戦いながら自転車旅行をした際、友人の手紙や現地で知り合った人の親切が力となり、再び顔を上げ前進できたと旅で学んだことを発表し、これからは自分が人を支え、前に進める手助けをしたいと熱く語っての受賞となりました。

石田さんには、主催者から表彰状と副賞のメキシコ留学(インターコンチネンタル大学)目録を、メキシコ大使館からは書籍が贈られました。

<http://www.chiba-u.ac.jp/others/topics/article2010/20101120spain.html>